

統計数理研究所 50年のあゆみ

平成6年

統計数理研究所

統計数理研究所
50年のあゆみ



統計数理研究所正面



上空から見た統計数理研究所全景

庁舎の変遷【「I 統計数理研究所50年のあゆみ概説」,「XI 資料5(2)」参照】

◇ 帝国学士院〔昭19.6～昭20.3〕



◇ 細川邸〔昭20.3～昭24.9〕



◇ 東拓ビル〔昭22.1～昭24.6〕



◇ 三軒茶屋庁舎〔昭22.4～昭30.2〕



◇ 祖師ヶ谷庁舎〔昭24.9～昭30.4〕



◇ 旧庁舎〔昭30.2~昭43.7〕



◇ 現庁舎〔昭44.10~〕





職員（昭和33年10月）



職員（昭和39年6月5日 創立20周年時）



職員（平成6年3月16日 平成5年度研究報告会時）

「統計数理研究所50年のあゆみ」 発刊にあたって

統計数理研究所が創立されてから50年が過ぎました。‘僅かに、50年’ともいえる訳ですが、人の一生を考えてみれば随分長い年月です。研究所創設時のことを知る人はもう所内にはいなくなっていました。残された記録も多くはなく、当時の様子を窺い知ることは容易ではありません。日本統計学会の創立50周年記念事業の一つとして企画された、先輩たちへのインタビューの記録「日本の統計学五十年、東大出版会、1983」や「日本における統計学の発展、全54巻、1980～1982（統計数理研究所図書室所蔵）」はその意味で貴重です。研究所のことだけでなく、それをとりまく環境が生き生きと語られています。しかし、多少とも研究所に関連したことで、その頃に書かれたものなどに実際に触れようとしたことが、これはなかなか困難で短期間では十分なことは出来ませんでした。

初期の研究所の活動に関して信頼出来る一次資料の一つは、いうまでもなく、創立直後に発刊された講究録です。これも何度かの移転さわぎの間に散逸してしまっていたのを所員が寄贈しあって、辛うじて完全な形で残すことが出来たものです。これによって、私たちは創立の当初から質の高い研究がなされていたことを知ることが出来ます。講究録は後に、もう一つの和文による調査報告集である統計数理研究所輯報と合せて、統計数理研究所彙報という名で生まれ変わり、その後さらに統計数理と改題されて今日にいたっています。これは欧文誌 *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* と共に重要な定期刊行物であり、研究所の主要な知的財産の一つです。

昭和27年（1952）に統計数理研究所要覧が発行されました。これは昭和42年（1967）には年報と改名され、以後毎年発行されています。その年の所員の研究成果や、研究所の諸行事を記録したものです。研究者の活動分野の広がりや国際化が次第に進んで行く中で、

ともすれば散逸しがちな情報が確実に保存されることになりました。この度「統計数理研究所50年のあゆみ」を編纂するにあたってこれらの記録が十分に役に立っています。研究者の活動の記録を残すことそれ自体は、研究所の主要な仕事ではないかも知れません。しかし、私たちは先人たちの達成した成果を引き継ぎ、さらにこれを超えたいと願っています。これまでの成果を正当に評価し、それと同時に自分たちの成し遂げた仕事を後進のために正しく伝えることは必要であると思います。そういう願いを込めてこの「あゆみ」は編纂されました。研究所発展の全体像を描こうとしたものですから細部にまでわたることは出来ません。それでも、必要ならば一次資料に到達するための指針になるでしょう。

私たちは50年の間に培われた、重い伝統を担っています。その伝統とは、統計に関する新しい研究分野を切り開いて行くという、積極的な姿勢を指しています。統計数理研究所が昭和60年に大学共同利用機関に改組転換されたことによって、研究所内外のいろいろな分野の研究者たちによる共同研究の実施が制度化されました。統計学およびそれに関連する基礎研究と同時に、新しい研究分野を開拓する可能性は飛躍的に高まっています。計算機環境の著しい変化はそれをさらに促進するでしょう。50年の伝統を活かすためには革新的な発想こそが求められています。私は研究者たちの知的冒険に大いに期待しています。

平成6年6月

統計数理研究所長

清水良一

目 次

目 録

「統計数理研究所50年のあゆみ」発刊にあたって

I	統計数理研究所50年のあゆみ概説	1
II	歴代所長のプロフィール	7
III	回 想	
	講究録のことなど	國 澤 清 典 12
	統数研の創成期	林 知 己 夫 13
	初期の研究所	松 下 嘉 米 男 14
	勤め始めた頃の思い出	青 山 博 次 郎 14
IV	主要研究テーマ発展小史	16
	数理統計学および確率論	17
	多変量解析	21
	日本人の国民性調査	23
	標本調査とサンプリング	25
	数量化法	26
	時系列解析	28
	情報量規準	31
	オペレーションズ・リサーチ	33
	物理・工学統計	35
	生物・医学統計	38
V	出版物の歴史	40
VI	共同研究	45
VII	国際研究交流	46
VIII	社会人に対する統計教育	50
IX	計算機環境の変遷	55
X	沿 革	61
XI	資 料	
	1 設置規定	73
	2 機 構	78
	(1) 機構図 (2) 研究組織等の沿革	
	3 教職員定員の推移	81
	4 年度別予算	82

5	敷地・建物	83
	(1) 敷地・建物面積 (2) 庁舎使用沿革	
6	所蔵図書概要	85
7	研究課題等	86
	(1) 特定研究経費等による研究課題	
	(2) 科学研究費補助金による研究課題	
	(3) 年度別科学研究費補助金	
	(4) 元・現教官の主要論文リスト	
8	共同研究	117
	(1) 採択件数等年度別推移	
	(2) 分野別採択件数の経年変化	
	(3) 分野別採択比率経年一覧	
	(4) 共同研究レポート一覧	
9	研究者等の在籍状況	121
10	統計数理研究所で開発されたソフトウェア	122
11	旧参与, 評議員, 運営協議員等	132
	(1) 旧参与 (2) 評議員 (3) 運営協議員	
	(4) 共同利用委員会委員	
12	歴代所長等	136
	(1) 所長 (2) 研究部長 (3) 養成所長	
	(4) 企画調整主幹 (5) 研究主幹・センター長	
	(6) 技術課長	
13	名誉所員・名誉教授	139
	(1) 名誉所員 (2) 名誉教授	
14	歴代研究員・教官	140
15	元職員	144
16	現教職員	155
17	総合研究大学院大学数物科学研究科統計科学専攻	158
	(1) 入学状況 (2) 在学者数 (3) 共同研究	
	(4) グループ研究 (5) 講座等 (6) 併任教官	
18	創立50周年記念事業一覧	161
19	研究室等配置図	162